

# WSS NEWS

湾岸シーバスソサエティー

5300041 大阪市北区天神橋 3-8-15 フィッシュマン内

tel:06-6358-4414 fax:06-6358-4445

Email:info@wangan-seabass.com

## 谷山商事 CUP 特集 <その2>

### 技術交流会 第1戦「谷山商事カップ」報告 続編

#### 6/8 川崎新堤 入賞者インタビュー



#### 1位 小田島裕 3尾 3,740g

1 尾目 = 6 時 53 分、1,500g・56cm、白灯根元外側岸、壁ぎわボトム付近フォーリング中、マリア・シーフラワー-25gGFR / 2 尾目 = 10 時 52 分、760g・45cm、5 番と 6 番の間、中央付近のハシゴ外側、岸壁中層 5m くらいフォーリング中、シーフラワー-BPC / 3 尾目 = 11 時 26 分、1480g・60cm、日水物流外側、岸壁際中層フォーリング中、プロトジグ 23gBPH

小田島's タックル ロッド：エバーグリーン・ポセイドンゼファーマシンガンジャークノリール：ダイワ・ミリオネアベイキャスティング 103L / ライン：サンライン・ベーシック FC3.5 号ノルアー：マリア・シーフラワー-25g、シーフラワープロトタイプ 23g

今回釣られた場所は？

小田島 釣った場所は、船降りてすぐの 6 番付近が全てで、1 匹目が白灯台の根元の部分です。そこからずっと釣れないで、11 時近くまでいろいろやって、最後が 6 番と 5 番の中間付近。全て外側ですね、外側で釣れます。

試合中盤では 5 番に近い方でもお見かけしましたが？

小田島 その時はすでに 1 匹目を釣った後でした。でもカサゴばかりでした。常に幅の広がった場所で、5 番まで行ってないくらい同じ場所をやり続けてました。ずっとグルグルしてました。

釣れたタイミングの時に、何か気づいたこととかありますか？

小田島 朝イチは、赤潮の上に汚れてるゴミが外に流れるような下げ潮になってるのかな、と感じたときに 1 匹目が釣れました。でも時合としてはまだ満潮を過ぎてなかったんで、まだ下げの潮はそんなに効いてなかったと思うんですけど。まあ、居着きのを 1 本獲れたのかなという感じですよ。2 匹目 3 匹目が 10 時 50 分とか 11 時 26 分という終わり際だったんですけど、魚が少し浮き始めていた。潮の流れが軽く緩んでたのかなと思ってたんですけど、その中層で、どちらもフォール中で釣れましたね。

3 バイト 3 キャッチということでしたが、確実に獲った秘訣は？

小田島 まず大会前は必ずハリを全部新しくしています。自分で巻いて、自分で作って。既製のものではなく、気に入ったハリです。だいたい 3 年掛けてこれに辿り着いているんですけど、大会の時は全部のジグに新しいのを付け替えています。以前のスポーツ&フィッシングニュースで泉さんの出ていた記事を見たときに、鉤先にスポンジをかぶせてあったんですね。今回からそれを取り入れてます。新しく交換したフックにはすべてハリカバーとしてスポンジを付けて、とにかく魚のアタリ、そして掛かったときはしっかりと掛かるように心がけています。

今日はフッキング勝負になると感じたのですか？

小田島 去年は掛けてもバラすということが非常にあって、いろいろ試して、やはり鉤先の重要性とか、長さとかもあったんです。今年は前回のエントリー大会でバラシを 2 ~ 3 回してしまったんですけど、それ以外では今年は高確率で獲れてますので、ハリも重要なと思います。あとはやりとりですが、無理しないで行なってます。

プロトのジグは、どんな動きをするのですか？

小田島 岸ジギをやり始めて 3 ~ 4 年経ってるんですけど、違うフォールのものをちょっと考えようかなあと。シーフラワーよりもっとゆっくり落ちる感じの。潮が緩んでいる時にユラユラと落ちていくのをイメージして作っています。効果はありそうですけども、まだテスト段階ということで。



#### 2位 伊野宗義 1尾 3,630g

8 時 30 分、3,630g・74cm、スバル倉庫 5 番より外側、岸から 8 ~ 10m 底から 1m、パワーブレード PB-30

伊野's タックル ロッド：シマノ・AR-C906 / リール：シマノ・ステラ C3000HG / ライン：PE1 号 / リーダー：3.5 号 40cm / ルアー：コアマン・パワーブレード PB-30

今日の状況などをお教えください。

伊野 使ったルアーはコアマン・パワーブレードの緑金と青ピンク。それ以外ではレンジパイプなどです。今日は 4 本ヒットして 3 本バラしました。1 本目は魚が浮いていたのでレンジパイプ 90 で掛けました。あとの

3本は全部コアマン。2本はボトムをリフト&フォールして、手前でルアーを引いて上がってくる時に掛かりました。1本はキーパーなかったですが、ばらした2本もいいサイズで、ゲットしたのが79cm3,630gです。

そこは皆さんが撃っていた後ですか？ どういうタイミングで入れましたか？

伊野 9時頃に入りました。そこは根が広がっているような場所でしたので、根に隠れている魚を獲りたくて。前々から狙っていた場所です。ブレード系はいろいろありますけれど、こういう探る釣りにはパワーブレードが一番いいブレードだと思っていますので、ずっとこれで攻めました。この魚の前に1本いいのをバラしていたんで、今度は確実に獲ろうと、ファイト時間を20分ぐらい使いました。

ルアーチューニングなどは？

伊野 してません。ノーマルが一番バランスが良いと思いますので。したこともありましたが今はノーマル。ラインは直結で結んでます。



### 3位 井上清久 3尾 3.350g

1尾目=6時41分、1,490g・56cm、本部左内側、岸から20mボトム、パワーブレードPB-30ピンク/2尾目=7時28分、1,080g・52cm、第一冷蔵外側、壁際ボトム、R32ワーム赤ピンク+カルティバしずかヘッド14g/3尾目=11時11分、780g・46cm、スバル前外側、岸際テクトロ・ボトム、ストレートワーム(クリア黒)+しずかヘッド14g

井上's タックル 1匹目=ロッド:エバーグリーン・ポセイドンゼファーストリームマスター98/リール:ダイワ・セルテート2500Rカスタム/ライン:シーガー・バトルシーバス1号/リーダー:シーガー・グラントマックスFX3号

2匹目3匹目=ロッド:エバーグリーン・ポセイドンゼファーストリッドソリリューション/リール:ダイワ・カルディアKIX2506/ライン:シマノ・AR-C1.2号/リーダー:シーガー・グラントマックスFX2号

1匹目を釣った状況は？

井上 1匹目はスタート直後。下げ潮になる感じで川崎新堤ではたまっていた潮が押し寄せてくることがあるので、そのタイミングでボトムを狙って釣りました。釣ったのは内側。スタート順が遅かったのと、内側を見たら潮がよってきているような状況だったので立ち止まって釣りました。

2匹目は？

井上 そこから1番のほうへ歩いていくつもりで移動しました。自分がプラの時に狙っていた場所がちょうど空いたので、一回そこに立ち寄って、R32を壁際にキャストして、ボトムを引いてきて釣れました。プラは先々週の土曜日、先週の木曜日と昨日の土曜日にしました。場所は第一冷蔵の外側。プラの時はそこで釣ったり掛けたりしました。そこにシーバスがたまっている何かがあったかもしれないですね。

3匹目は？

井上 しばらくずっとボトムを狙って1番の方に歩いていったんですけど、

そこで、これもプラで思い当たった場所があったんですが、そこで立ち止まってやってみただけどうにも渋い。で、R32からストレートワームに変えたら、一発で食ってきました。場所はスバル前の外側です。

誘い方は？

井上 3本目は完全にテクトロで、ボトムをズルズルと引きずりながら歩く感じを意識して、一定のペースを守りながら、食ってくれるまで歩こうと。



### 4位 山田英樹 3尾 2.870g

1尾目=7時45分、1,020g・53cm、日水物流外側、岸際ボトム、R32+しずかヘッド14g/2尾目=10時8分、800g・47cm、東洋埠頭前、岸際・上から1m、R32富津イワシ+コアマン・パワーヘッド12g

山田's タックル ロッド:エバーグリーン・ベイトロッド7ft/リール:ダイワ精工・アルファス103/ライン:クレハ・R-18リミテッド14lb/ルアー:マーズR32/ジグヘッド:カルティバ静ヘッド14g、コアマン・パワーヘッド12g/3尾目=10時50分、1,050g・53cm、スバル前、岸際・ボトム、マーズR32+しずかヘッド14g

まずはタックルの解説からお願いします。

山田 いつもですとワーム系を使う時はソリッドティップのソリッドソリリューションでテクトロをやるんですけど、ちょっと指をケガしてまして、スピニングがちょっと辛かったのでベイトタックルでやってみました。プラの時に岸ジギをやったのですがあまり良くなって、R32のテクトロをやったら反応が良くて、またこのロッドの感度も良くて、ショートバイトもダイレクトに感じられたので、本番もこれで行こうと選びました。

ジグヘッドは？

山田 使い分けてやってみただけですけど、流れの強い時、下げ潮が効いてきて際を流れ出すとテクトロをするときに浮いちゃうので、ちょっと重めの静ヘッドの14g。流れが弱くなったと感じたら、ちょっと軽めのパワーヘッドの12gで攻めました。

釣れた状況は？

山田 1匹目は5番と6番の間の狭くなったところから50mほど赤灯側。最初はカサゴがバンバン釣れてました。スリットのところでバイトがあり、カサゴでも何でもまずは正体を知らうとやってみたらやっぱりカサゴです。そこからしばらくテクトロをしていったら、そのあたりで食いました。ボトムを切るような感じで。ベイトタックルを選んだもう一つの理由が、普段はレバープレーキでやることなのですが、テクトロしているとラインがフケたり底を切りすぎたりするので、そんな時にはクラッチを切ってラインを張り、常に一定の場所を引いているようなイメージで流していきました。

2匹目と3匹目は？

山田 1匹目は流れと反対方向に歩いていたのですが、2匹目は逆、流れ

に対してダウンストリームという感じですね。流れが少し緩くなったので、パワーヘッドでゆっくりめにネチネチと。ボトムとしては切って、ちょっと歩いて、また落としてって感じで捨てていきました。そこから200~300m歩いて何もしなかったの、スリット3つ分ぐらいラインを出してスローに引いたらその途中でゴンとアタリました。

際の釣りはテクトロのみ？

山田 テクトロしながら全体の様子を見て、潮目とかゴミが寄ったりとか、鳥が居たりとか、ゴミが流れてきたり船が通ったりとかいうタイミングがあったら、パワーブレードを入れました。



### 5位 佐川洋介 2尾 2,540g

1尾目 = 7時20分、1,250g・50cm、本部前、岸際水深2~3m、R32 オヌマシャイナー+パワーヘッド 9g / 2尾目 = 8時9分、1,290g・56cm、本部南側、岸際・ボトム、ルアーは同じ

佐川's タックル ロッド：8ft / リール：シマノ・04 ステラ C3000 / ライン：PE0.8号 / リーダー：クレハ・シーガーリアル FX2号 200cm / マーズ・R32 オヌマシャイナー+コアマン・パワーヘッド 9g

佐川 ロッドはロックフィッシュ用なのですが、バットがしっかりしているのでシーバスのワーム用にも使用しています。リールはステラ C3000、ラインは PE0.8号で、リーダーがシーガーリアル FXの2号。ルアーは R32 にコアマン・パワーヘッドの9gと12gを、タナに合わせて使い分けました感じですね。

1匹目を釣った状況は？

佐川 1匹目は内向きの堤防の低い方で、テクトロで本部から南へ100mほど行ったところです。幅の広いところで。引き方は、潮に対してアップになるように。潮上に投げて。自分が潮の下に歩いていくような。岸ジギで散々叩かれた後だったので、魚はそれほど浮いてないだろうと。で、浮き上がりを抑えるために、潮の下へ歩くことで、ワームが浮き上がらないようにして釣りました。浮き上がりを抑えるために最初は12gの方で歩いてみたのですが、アタリがなかったので、自然にワームが漂うようにと9gに変えて、同じように歩いてみたらバイトが出たという感じですね。歩くスピードは浮き上がらないことを第一に、歩きながらもロッドアクションをいれて、魚が食う間を作ってあげるようにして釣りました。

2匹目は？

佐川 位置はほぼ似たり寄ったりなんですけれど、今度は外側を潮の下から上に向かって歩いたらバイトが出たんですが、やっぱりダウンで歩いてたので、ワームが浮いていたのかたまたまだったのかは分かりませんが、バイトが浅かったので今度はアップになる位置から20mぐらいキャストして釣りました。歩いていた場所の多分水面から3mぐらいだと思うのですが、そのレンジを漂うように。

使ったカラーは？

同じオヌマシャイナーなんですけれど、1本目はラメあり、2本目はラメのないタイプですね。

(以下成績...10位まではクラシック出場) 6位八木寿美 1,970g / 7位福井崇史 1,920g / 8位宮川智道 1,580g / 9位平山克彦 1,570g / 10位磯崎大介 1,470g / 11位山内勝己 1,390g / 12位別府勝弘 1,260g / 13位上河烈士 1,210g / 14位前場伸介 1,190g / 15位三道竜也 1,140g / 16位須永佳代子 1,030g / 17位竹田津淳 1,000g / 18位反町裕之 970g / 19位井田洋次郎 930g / 20位木村剛 870g / 21位清水大輔 720g / 22位斉藤貴弘 700g / 23位塩崎誠 670g / 24位森川真志 550g



(以上結果発表おわり)

(特別寄稿)

**釣技研究 谷山商事 CUP ウィナーが最先端を語る！**

## 「岸壁ジギングの戦略」



Text by 小田島 裕

2008年のW.S.S.技術交流会第1戦にて、「岸壁ジギング」にて戦略を立て、3匹の魚をヒットさせキャッチすることができた。そして、目標だった優勝という結果を手に入れた。今回、自分の攻めた方や考え方、また、それをキャッチするまでに気を配った点について書きたいと思う。

赤潮がひどい状況下で、魚をキャッチできるのか？ と不安のスタートだったが、比較的早い時間帯に1匹目をキャッチできた。白灯の根元付近の外側、ケーソンの継ぎ目がない、ただの壁だけのエリア。シーフラワー25gのGFR(赤金)でのヒットである。魚が反応したレンジは、感覚的にボトムに到達する1~2秒くら

い前、つまりボトム付近。ジグを潮上側へ軽くピッチングで入水させてのフォーリング中にバイトしてきた魚だ。スタート直後の状況は、内側も外側も表層の赤潮の状況は変わらず、ただし、白灯先端からの潮の流れは生じていた。流れてはいるが、強すぎない流れのエリアでのヒットである。赤潮の汚い水の中で、GFRというゴールドベースのカラーが、効果的だったのかもしれない。また、表層は赤潮でひどい状況で、ボトム付近で食ってきたのは魚が沈んでいることを意味していたのかもしれない。



1匹目の後、下げ潮が全体的に効き始めた頃からカサゴの活性が一気に上がっていたように思う。実は、カサゴの連発していたこのエリアが、結果的に2匹目と3匹目をキャッチしたエリアとなっている。岸壁の底付近に変化があるのだろうか？ こういう外道からも、大切な情報を手に入れることができる。途中、6番の内側にできた潮目の中層～ボトムを狙う釣りもやってみたが、潮の流れが速すぎて、自分の思う通りにルアーを操作することができず、このまま続けるのも無駄だと感じて、すぐに断念。終了時間まで、岸壁だけを狙う戦略を取った。

ママワームのジグヘッドで、パーティカルに誘う岸壁ソフトジギング(?)を行っていて、とあるにことに気が付いた。潮色が少しキレイになってきたこと、潮の流れが若干弱くなっていることなど、自分の中では「いい状況」に変化していた。そこで、タックルを岸ジギのタックルへと戻し、ラストまでの時間を岸ジギのみに費やすことにした。

終了30分前くらいに、シーフラワーのBPC(ブルーピンク)で、魚からの反応を得ることができて、2匹目をキャッチ。バイトしてきたレンジは中層で、1匹目と違ったレンジであったが、フォーリング中にバイトしてきたこと、潮上からナチュラルにフォールしていく途中へのバイトという2点は、1匹目との共通点である。潮色が若干澄んできたから、GFRよりも弱い色のBPCへと変えていたのも正解だったかもしれない。



キャッチした2匹から、「フォール中への反応がよいのでは？」と思い、プロトタイプのジグへチェンジし、キッカーフィッシュとなる3匹目をキャッチした。

このプロトジグは、「シーフラワーより遅いフォール」をコンセプトにしているジグで、まだまだテスト段階のジグである。ゆったりとしたフォールアクションが、シーバスへのアピールになるのではないかと考えた末のルアー選択である。カラーは、2匹目に合わせBPH(ブルーピンク・ホロ)である。この3匹目は、終了間際のキャッチで、計測後そのまま競技終了の時間を迎えた。

実は、今大会中にかけた魚は、キャッチした3匹だけである。岸ジギをやると、「バラシ」が非常に多い釣りでもある。「ヒットさせた魚をバラさずに、いかにキャッチするか」が、岸ジギの永遠のテーマである。



バラシをいかに少なくするかを考えた結果、魚に一番近い部分である「フック」に気を配る必要があるのでは？ と考えている。今まで色々な針を買って、いろんなフックを自作して使ってきたが、去年から、「ヒネりなし」「細すぎず太すぎないチヌ針系」「ストレートポイント」という点をクリアしている、オーナー社の針を釣具屋で見付け、現在はその針をメインに使用している。釣りに行く前日に、メインで使用するジグのフックを新品へと付け替えをし、シーバスへ触れる時には、「常に状態のいいフック」でいることを心がけている。また、ボックスの中で、針先を痛めないように心がけるのも大切である。バラさないためにも、フックアップをしっかりと行なうことが重要。それが、バラシを少なくするための第一歩であると考えている。

今回の3匹は、共に「フォール中」「潮上からのよりナチュラルなフォール」というのがキモだったと感じている。また、2匹目、3匹目が中層でのバイトになった理由は、外側の潮が若干澄んだことにより、イワシ(?)などのベイトが岸際を回遊し始め、それにつられてシーバスが浮いたのかもしれない。

このパターンで常に釣れるわけではないのが、釣りの面白さ。あくまで、2008年6月8日に、この釣り方がハマっただけで、これが全てではない。様々な状況変化を感じ取り、考え、適しているだろうルアーを選び、魚との答え合わせをする。そういった楽しさを持っているのが、自然を相手にしている釣りという「遊びの中のゲーム性」なのだろう。